

入 浴 心 得

源泉名

花 洲 荘 源 泉

(湧出地 大崎市鳴子温泉宇星沼133-10)

含有成分及びその分量(温泉水 1kg中)

密度 (20℃/4℃)	0.9989	pH 値	7.1
電気伝導率 (25℃)	101.0 (mS/m)	ラドン (Rn) 含有量	×10 ⁻¹⁰ Li (L/kg)
知 覚 的 試 験	無色透明で臭気・味ともほとんどなく、中性である。		
陽 イ オ ン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
水素イオン (H ⁺)			
リチウムイオン (Li ⁺)	0.3	0.04	0.37
ナトリウムイオン (Na ⁺)	204.0	8.87	82.05
カリウムイオン (K ⁺)	6.7	0.17	1.57
アンモニウムイオン (NH ₄ ⁺)	0.6	0.03	0.28
マグネシウムイオン (Mg ²⁺)	0.8	0.07	0.65
カルシウムイオン (Ca ²⁺)	32.6	1.63	15.08
ストロンチウムイオン (Sr ²⁺)	< 0.1	0.	0.
アルミニウムイオン (Al ³⁺)	< 0.1	0.	0.
マンガン(Ⅱ)イオン (Mn ²⁺)	0.2	0.00	0.
鉄(Ⅱ)イオン (Fe ²⁺)	< 0.1	0.	0.
銅(Ⅱ)イオン (Cu ²⁺)	< 0.1	0.	0.
亜鉛イオン (Zn ²⁺)	< 0.1	0.	0.
陽イオン 計	245.2	10.81	100.00
陰 イ オ ン	ミリグラム (mg)	ミリバール (mval)	ミリバール% (mval%)
フッ素イオン (F ⁻)	0.8	0.04	0.40
塩素イオン (Cl ⁻)	25.8	0.73	7.33
臭素イオン (Br ⁻)	< 0.1	0.	0.
ヨウ素イオン (I ⁻)	0.2	0.00	0.
水素イオン (OH ⁻)	0.	0.	0.
硫酸水素イオン (HS ⁻)	< 0.1	0.	0.
イオウイオン (S ²⁻)	0.	0.	0.
チオ硫酸イオン (S ₂ O ₃ ²⁻)	< 0.1	0.	0.
硫酸水素イオン (HSO ₄ ⁻)	0.	0.	0.
硫酸イオン (SO ₄ ²⁻)	73.7	1.53	15.36
リン酸水素イオン (H ₂ PO ₄ ⁻)	0.	0.	0.
リン酸水素イオン (HPO ₄ ²⁻)	0.1	0.00	0.
メタ亜硫酸イオン (HSO ₃ ⁻)	0.	0.	0.
亜硫酸水素イオン (HSO ₃ ⁻)	467.3	7.66	76.91
亜硫酸イオン (SO ₃ ²⁻)	0.	0.	0.
ケイ酸水素イオン (HSiO ₃ ⁻)	0.	0.	0.
メタケイ酸イオン (SiO ₃ ²⁻)	0.	0.	0.
陰イオン 計	567.9	9.96	100.00
非 揮 発 性 成 分	ミリグラム (mg)	溶解ガス成分	ミリグラム (mg)
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	129.5	溶解二酸化炭素 (CO ₂)	101.8
メタケイ酸 (H ₂ SiO ₃)	8.2	溶解硫化水素 (H ₂ S)	< 0.1
メタ亜硫酸 (H ₂ SO ₃)	< 0.1		
非 揮 発 性 成 分 計	137.7	溶解ガス成分 計	101.8
総 硬 度 < 0.005 (mg/kg)		総 水 硬 度 < 0.0005 (mg/kg)	
総 硬 度 < 0.01 (mg/kg)		カルシウム < 0.002 (mg/kg)	
揮 発 性 成 分 計 (ガス成分を除く)	950.8 (mg/kg)	高 純 度 留 留 物 (固形物除く)	681.5 (mg/kg)

分析年月日 平成 24 年 9 月 20 日 公開検査 988 号

利用許可年月日・番号	平成 16 年 3 月 9 日 指令第 1580 号
利用許可の種類	浴 用 (飲用の許可は受けておりません)
決定年月日・番号	平成 24 年 11 月 14 日 第 1131 号
掲載内容決定者	宮城県大崎保健所長

泉 質: 単純温泉 低張性中性高温泉
(旧泉質名 単純温泉)

泉 温: (分析時) 72.1 ℃ (使用位置) 67.7 ℃

この温泉を利用した温泉療養(湯治)の適応と禁忌は、次のとおりです。右の注意事項をお読みのうえ御利用ください。

一般的 適応症	神経痛・筋肉痛・関節痛・五十肩 運動麻痺・関節のこわばり・うちみ・くじき 慢性消化器病・痔疾・冷え症・病後回復期 疲労回復・健康増進
泉質別 適応症	

次のような疾患・症状の方は、この温泉での温泉療養(湯治)はおさげください。

一般的 禁忌症	急性疾患(特に熱のある場合)・活動性の結核・悪性腫瘍 重い心臓病・呼吸不全・腎不全・出血性疾患 高度の貧血 その他一般に病勢進行中の疾患 妊 娠 中(特に初期と末期)
泉質別 禁忌症	

浴室名に掲げる浴槽の利用形態は、次のとおりです。

項 目	実 施 の 理 由	
加 水	無	源泉100%です。
加 温	無	-
循 環	無	-
消毒処理	無	-
入 浴 剤	無	-

温泉登録・分析機関(宮城第1号)
〒989-3126 仙台市青葉区落合二丁目15番24号
電話 022-391-1133(代表) FAX 022-391-7988

財団法人 宮城県公害衛生検査センター

鳴子温泉施設名
(浴室浴槽名)

花 洲 荘
貸切風呂)

浴用上の注意事項

- ア. 温泉療養(湯治)に際しては、温泉について専門的知識を有する医師の指導を受けることが望ましい。
- イ. 温泉療養を始める場合は、最初の数日の入浴回数を1日当たり1回程度とすること。その後は1日当たり2回ないし3回までとすること。
- ウ. 温泉療養のための必要期間は、おおむね2ないし3週間を適当とすること。
- エ. 温泉療養開始後おおむね3日ないし1週間前後に湯あたり(湯さわり又は浴湯反応)が現われることがある。「湯あたり」の間は入浴回数を減じ、又は入浴を中止し湯あたり症状の回復を待つこと。
- オ. 以上のほか入浴には次の諸点について注意すること。
- (ア) 入浴時間は、入浴温度により異なるが、初めは4分ないし10分程度とし、慣れるにしたがって延長してもよい。
- (イ) 入浴中は、運動浴の場合は別として一般には安静を守る。
- (ウ) 入浴後は、身体に付着した温泉の成分を水で洗い流さない(湯ただれを起こしやすい人は逆に浴後真水で身体を洗うか、温泉成分を拭き取るのがよい。)
- (エ) 入浴後は湯冷めに注意して一定時間の安静を守る。
- (オ) 次の疾患については、原則として高温浴(42℃以上)を禁忌とする。
- イ. 高度の動脈硬化症 ロ. 高血圧症 ハ. 心臓病
- (カ) 熱い温泉に急に入るとめまい等を起こすことがあるので十分注意をする。
- (キ) 食事の直前、直後の入浴は避けることが望ましい。
- (ク) 飲酒しての入浴は特に注意する。